

どうかんきょう

真宗大谷派同和関係寺院協議会
2023年10月31日発行

同関協だより

第 66 号

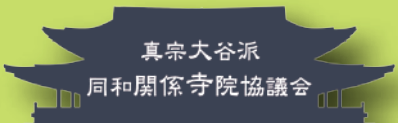


2023年4月12日「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要記念大会

第 66 号 主な内容

- P 2 慶讃法要記念大会
- P 4 慶讃法要記念大会 記念講演
- P 6 「是旃陀羅」問題に対する「同関協」の基本姿勢
- P 8 慶讃法要記念大会 表白
- P 10 慶讃法要記念大会 記念ライブ
- P 11 慶讃事業会計
- p 12 慶讃法要記念大会 参加者の声
- p 13 2023年度総会報告
- p 14 2022年度事業報告・決算
- p 15 2023年度事業計画・予算

宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃テーマ



あなた 人間 忘れていませんか？
共に、朋に、友に生き遇いましょう

新編集委員あいさつ

九州・沖縄ブロック 中村 昌法

今年度より編集委員として参加させていただくことになりました、九州教区久留米三井組の中村昌法です。「同関協」会員になって日は浅いですが、皆さんに思いが伝わるようにここから発信したいと思います。

「同関協」会員になる前から「話題」としてはありました「是旃陀羅」問題、2013年に部落解放同盟広島県連合会からあらためて「是旃陀羅」の語に関して問題提起を受けてから早10年が過ぎましたが、未だに道が見えません。少し身近なところから考えれば見えてくると思います。

それは、現在の私の中心的な課題である、2017年におこった宗派内での部落差別発言です。これは、私も含めて多くの大谷派に身を置くものが、差別と向き合うことを放置したことで差別発言を出した要因と考えます。

発言を受けた方から教えていただいたことは、「知らされるよりも知る動き。真実を知る義務と知った責任」という言葉です。私に願われたことであると同時に、私に突き付けられた大切な問題提起だと思えます。このことは、身元調査お断り・過去帳閲覧禁止の問題であり、「是旃陀羅」問題までつながる問題です。

これを縁として「同関協」からも声を出して差別をなくす運動へと邁進していきますので、これからよろしくお願いします。

「同関協」近畿ブロック研修会のご案内

日時 2024年5月15日(水)10:00～16日(木)12:00

場所 真宗大谷派山陽教務所 他

内容 林久良さんのお話(「是旃陀羅」差別等)

川口泰司さんの講話「寝た子はネットで起こされる」

フィールドワーク

西御着総合センター皮革資料室

姫路の皮革工場等のエリア見学等

お問合せ先 近畿ブロック代表 岡田克也 k-okada@sun-net.jp



人権情報ネットワーク「ふらっと」より



Be FLAT ホームページ

編集後記

今年三月二十五日から四月二十九日まで宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が真宗本廟で厳修され、沢山のご門徒の方々が遠近各地よりお参りをされた。私も組の団参など含め、数回お参りさせていただいた▼ただ非常に残念なことがあった。それは自坊の団参でお参りしたとき、宗務所の駐車場から境内を御影堂に歩いていくと、その日は来賓の方々が玄関門から出入りされるため玄関門が開いており、せっかくだからご門徒と全員で御影堂門から入ろうと思いい、玄関門から緑地公園側へ出ようとする、警備員さんに「一般の人は入りできません」と声を掛けられた。その言葉を聞いて、出入りできる「一般の人」以外の人は、どの様な人なんだろう。来賓の方と同じように玄関門から入ろうとしたのなら、分からないでもないが、門から出ることを許されないことに、正直怒りを覚えた▼その門を出入りできる人にとっては、特別感がでて気分が良いのかもしれないが、せっかく慶讃法要にお参りくださるご門徒が出入りできないなんて、わざわざ開ける必要はないと思う▼本廟護持は誰によつてなされているのかを、もう一度真剣に考えるべきではないだろうか。

編集委員 小幡智博

ご意見・ご感想はこちら



<https://forms.gle/v4Z7D7pCs2KqjDZT6>

『同関協だより』編集委員会では、ご意見・ご感想を募集しています。QRコードをスマートフォンで読み取っていただければ、フォームが開きます。

同関協だより 第66号

発行日 2023年10月31日 発行人 松尾英城

発行 真宗大谷派同和関係寺院協議会 真宗大谷派解放運動推進本部内「同関協」事務局
〒600-8164 京都市下京区上柳町199 ☎ 075・371・9247

会費納入のお願い
(年会費5,000円)

[口座番号] (ゆうちょ) 01010-6-2770

[口座名] 同和関係寺院協議会

あなた人間忘れていませんか？

——共に、朋に、友に生き遇いましょう——



【大会日程】

2023年4月12日(水)午後1時 — しんらん交流館 大谷ホール —

開 会 真宗宗歌
挨拶 真宗大谷派同和関係寺院協議会 会長 松尾英城
真宗大谷派宗務総長 木越 渉

記念講演 講題 「全国水平社創立100年の今日的意味と部落解放への展望」
— 部落問題克服にむけた課題と宗教者への期待 —
講師 谷元 昭信

大会表白 「是旃陀羅」問題に対する基本姿勢表明

閉 会 恩徳讃

午後4時 — 東本願寺御影堂門前・市民緑地 —

記念ライブ 「人間を忘れない！」 SHINGO★西成・DJ FUKU

終 了

二〇二三年四月十二日(水)午後一時から、「真宗大谷派同和関係寺院協議会宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百周年 慶讃法要記念大会」を、「あなた人間忘れていませんか? —共に、朋に、友に生き遇いましょう—」のテーマのもと、しんらん交流館大谷ホールで開催した。

会場には、木越渉宗務総長・尾畑英和解放運動推進本部長も出席され、全国から「同関協」会員をはじめ宗議会議員や一般の住職・ご門徒の方々など、約百五十名の参集があった。

片山寛隆常任委員の司会で記念大会がはじまり、冒頭に松尾英城会長が、「宗祖の御誕生・立教開宗を慶讃するとは、我々が親鸞聖人を宗祖としながら、そのみ教えに背き続けてきたことへの慚愧を通して、御同朋御同行の精神を回復する歩みを進めるということではないか。この歩みの実践こそが同朋会運動であり、「同関協」の根底に流れる願いでもある。慚愧のない慶讃はありえない。慚愧の精神によって差別問題と向き合



い続け、自他ともに人間を尊敬しあうことが、慶讃ということを開き続けていく道である」と挨拶し、また、「是旃陀羅」問題を、はたしてどのように部落差別に苦しんでいるご門徒と課題を共有し、共に語り合っているのか。これから我々には、いばらの道が待っている」と話された。

木越宗務総長は、松尾会長の挨拶の中にあつた「慚愧」の言葉をなぞられ、「故平野修先生が蓮如上人御遠忌の折に「これから真宗大谷派が行う法要全て慚愧を持たねばならない。慚愧の法要である」と話されていた」とのお話や、宗門の課題となっている「是旃陀羅」問題についての現在の取り組み状況などを述べられ、挨拶とされた。

その後、「全国水平社創立100年の今日的意味と部落解放への展望」―部落問題克服にむけた課題と宗教者への期待―と題して谷元昭信さん(元部落解放同盟中央書記次長)の記念講演(四〇五ページ参照)があり、熱のこもったお話に皆が聞き入っていた。

記念講演終了後、「同関協」の「是旃陀羅」問題に対する基本姿勢について、会長から説明(六〇七ページ参照)があり、その姿勢表明となる大会表白(八〇九ページ参照)を、ご本尊の前で川端裕敬大会実行委員長が読みあげた。この表白は、「是旃陀羅」問題に対する会員の声を聴き合う場として、二〇二二年三月と十月の計二回、「是旃陀羅」問題を考える奉仕団」を同朋会館で開催し、参加した会員の声を踏まえて検討・作成したものである。当日のパンフレットにも掲載し、川端大会実行委員長の読みあげに合わせ、参加者の皆さんも黙読し、確認されている姿が印象的であった。

基本姿勢の表明が即「是旃陀羅」問題の解決とはならないが、まずは「同関協」から発せられたこの大会表白が、広く宗門内に波紋として届くことを願ってやまない。

「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要記念大会

記念講演

講題 全国水平社創立100年の今日的意味と部落解放への展望
— 部落問題克服にむけた課題と宗教者への期待 —

講師

谷元 昭信

Tanimoto Akinobu

元部落解放同盟中央書記次長
元反差別国際運動事務局次長
元大阪市立大学非常勤講師・関西学院大学非常勤講師
現在 部落解放論研究会代表世話人



記念大会に宛てたメッセージ
記念大会パンフレットより

日本における部落差別の存続にかかわって、宗教は歴史的に密接な役割を果たしてきました。とりわけ、被差別部落の八割におよぶ門徒をかかえる真宗教団は、日常生活はいうにおよばず経典や教学においても深い関係を維持してきました。

「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年」という大きな節目の年に、「是旃陀羅」問題に象徴されるような自らの差別的体質に真摯に向き合い、親鸞聖人の揺るぎなき平等思想に立ち帰りながら、部落差別は言うにおよばずあらゆる差別撤廃への宗教的取り組みを具体的に推し進めることが求められています。

部落解放運動も、「解放令」発布150年、全国水平社創立100年という時空を経て、新たな部落解放運動を創出する段階に立ち至っています。その方向性は、水平社創立宣言が謳いあげた「誇りの戦略」を基調にして、「水平的社会連帯」と「地域共生社会」を実現していく取り組みだと思っています。

部落問題の1日も早い解決に向けて、真宗大谷派同和関係寺院協議会、ならびに解放運動推進本部と部落解放運動が強力な協働の取り組みを可能にする道筋を探っていききたいと思います。

記念講演では、元部落解放同盟中央書記次長、大阪市立大学なら

びに関西学院大学非常勤講師を歴任された谷元昭信さんに「全国水平社創立100年の今日的意味と部落解放の展望——部落問題克服への課題と宗教者への期待——」の講題で講演いただいた。

谷元さんは、江戸時代から明治時代にかけての被差別部落の置かれた状況や解放令の影響による「部落解放反対騒擾」、「水平社創立の意義」「水平社宣言に込められた願い」など、歴史的な事実に基づき、詳細な資料を交えてお話しされた。

水平社宣言の優れた点として、徹底した人間讃歌の視点で書かれている点、世界的に見ても、初めての差別された側の宣言である点、日本初の人権宣言である点などをあげられたうえで、水平社宣言は非常に格調高い文章であるが、現代にはそ

ぐわい部分もあることを指摘された。

しかし、「差別とは、差別用語を使ったからといって差別ではない。差



別する意志、侮辱の意識が差別である」と展開され、水平社宣言は、

差別用語を用いないと意味をなさない、差別をなくせないから用い

たのである。だからこそ、「水平社宣言が差別文章ではなく、差別をなくすための文章である」と説明のうえ、「旃陀羅」という言葉も差別用語である。どのような文脈で使われるかが重要である。同時に、使つてはいけないということが文脈の中で表れているかどうか大切である。差別語を不用意に使うと、差別語のもっている歴史的、社会的な意味合いから、多くの人々に差別意識を助長、再生産する結果をもたらすのである」と警鐘を鳴らされた。このことは、「是旃陀羅」問題を考えるうえでも大きな示唆をいただいた。

また、水平社宣言の持つ「人間を尊敬することにより差別を克服する。差別する側もされる側もお互いに救われていく」という思想は、親鸞聖人の思想に通じているとお話しされ、親鸞聖人が「屠沽の下類」という宗教的立場を表明されたことをあげ、「エタである事を誇り得る」と宣言した水平社宣言の文言と通じると述べられた。

最後に、宗派が課題としている「是旃陀羅」問題に触れ、一部の者が考えるのではなく、全門徒、全住職が主体的に考え、取り組むことが願われると締められた。

（報告 編集委員 治田裕臣）

「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年 慶讃法要記念大会

慶讃事業方針

「是旃陀羅」問題を課題として差別の克服（人間性の回復）を果たす

「是旃陀羅」問題に対する「同関協」の基本姿勢

『記念大会パンフレット』 抜粋

「是旃陀羅」問題とは

「是旃陀羅」の教説部分は、被差別者にとってはやりきれないほど、心に痛みを感じるところである

『親鸞思想に魅せられて』
小森龍邦 著（明石書店）

二〇一三年、宗派は『仏説観無量寿経』（以下、『観経』）の「是旃陀羅」ということばについて、部落解放同盟広島県連合会から問題提起を受けました。「旃陀羅」はインド古代の被差別民「チャンダーラ」のことです。

真宗の僧侶は、「旃陀羅」を日本の被差別民衆である「穢多・非人のようなもの」と喻えて布教をしてきました。

「是旃陀羅」問題は、百年前の全国水平社創立以来、その差別性を指摘されながら、宗派として今日まで十分に向き合ってきませんでした。

被差別部落のご門徒と直接的にご縁のある私たち「同関協」の寺院もまた、お寺の儀式やご門徒の法事等で『観経』を読誦してきました。

水平社創立以来、提起されてきた「是旃陀羅」問題について、今、私たちが問われ続けているのは、糾されていることを忘れていたのです。それは、宗派の教学委員会の『報告』によれば、「同朋精神喪失の事実」すら無自覚」という姿勢といえるのではないでしょう

か。だとすれば、この「同朋精神の回復」が歩む方向となり、その前提として「喪失の自覚」が課題化されてきます。

それを、「人間を忘れていないか」という問いかけとして、「同関協」は慶讃テーマとして掲げ、発信しました。

「同関協」の取り組み

被差別部落のご門徒にご縁をいただく住職らが中心となって、様々な課題を共有してきた「同関協」の半世紀の歩みですが、主体的に「是旃陀羅」問題を取り上げ、取り組んできたとはいえません。ましてや、この問題に無自覚に『観経』を読誦し続けてきたのではないかという反省があります。

その反省を踏まえ、このたびの慶讃法要を機縁にして、「是旃陀羅」問題に対する「同関協」の基本姿勢を明確にすることを目的に、「是旃陀羅」問題を課題として差別の克服（人間性の回復）を果たす」を慶讃事業の方針として取り組んできました。

宗派では、「是旃陀羅」問題の意識喚起と課題共有がはかられていますが、その中で、果たしてどのように被差別部落のご門徒と語り合っているのか。そのような会員の声を互いに聞き合っていくため、「同関協」は慶讃法要のお待ち受け事業として2度の「是旃陀羅」問題を考える奉仕団を結成し、寝食をともにし、膝を突き合わせて語り合ってまいりました。

「是旃陀羅」問題に対する「同関協」の基本姿勢

二〇二二年三月に行われた第一回「是旃陀羅」問題を考える奉仕団では、『観経』の「是旃陀羅」の読誦について、「読む・読まない」の二者択一的議論でなく、「読めない」という立場を共有しました。（『同関協だより』第六十四号参照）

さらに同年十月に結成された第二回奉仕団においては、この「読めない」という姿勢を具体的にどう表現し、いかにご門徒と共有していくのかという視点で話し合いました。（『同関協だより』第六十五号参照）

そこで挙げられた課題は、

- ① 「同関協」の基本姿勢は誰に對して示されるのか
- ② 『観経』を無自覚に読んできた者としての謝罪
- ③ 法要・儀式における読誦の方途、仏説としての教学的意義の明確化

というものでした。

読誦の方途については、「読めない」という不拝読は、『観経』そのものをいうのか、「是旃陀羅」の文言に限るのか、「観経和讃」はどうかなどの問題が出され



川端大会実行委員長による「表白」

ることなくすすめていくことを確かめました。
学びを継続していく上で、私たちが最も大切にしなければならぬのは、実際にご法事の現場で私たちが読誦を繰り返してきたご門徒との学びの共有です。
ご門徒と学びを共にしていくにあたり、まず私たちの姿勢をご門徒にお示しせねばなりません。

ん。

まず①の、表明は誰になされるものかについては、ご門徒に対する意識をもつものです。そして、②の謝罪を示す対象を踏まえたとき、私たちの基本姿勢は、これまでの糾弾の声を真摯に受け止めるならば、

宗祖の教えに対する信仰を示すものでなくてはならないことを思います。同時にそれは、宗門における僧侶、ご門徒に対して私たちの態度を表明するものです。

悲しみが極まると涙は涸れるといいます。胸中で涙を流し、怒りに震えるご門徒。声を挙げず黙って願ひ続けておられるご門徒。そして『観経』の読誦に感じる痛みを、勇気をもって発せられた声。その声にいかにか耳を傾け、受け止め、向き合っていくのか。私たちに求められるべき姿勢は、共に悩むものとなりうるか、ということです。

基本姿勢の表明

共に悩むものとなりうるか、そのことを「是旃陀羅」問題は私たちに提起し続けています。

「是旃陀羅」問題は、決して「同関協」に「答え」を求めているのではないでしょう。

「同関協」もまた、誰かに答えを求めたり、委ねたりするのでもないでしょう。

答えを希求し続けながら、いかに悩みを共有し、語り合っていくことができるのか。

「是旃陀羅」問題を課題として人間性を回復し、部落差別の克服を果たしていく歩みを続けていくこと、それを私たち一人ひとりの現場において実践していくことを、このたびの慶讃法要を機縁として確かめ、記念大会の「表白」として、「同関協」の基本姿勢を表明します。

「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要記念大会
表白

あなたのご誕生から八百五十年

真宗を開顕されて八百年の時をいただいて申し上げます

あなたが大切にされた『観無量寿経』

そのお経の「是施陀羅」の語

わたしたちはいま 読まれると痛いという声を聞いています

あなたならどうされるでしょうか

その言葉に傷つかれたお同行の指摘に耳を傾けることもせず

百年が過ぎました

釈尊をはじめ 七高僧から学ばれた尊いお聖教

あなたは そのご註釈のなかで

その言葉に表向きに触れず 裏書のメモに留められました

この態度をわたしたちはどう受けとっていったらよいでしょうか

これまで差別によって傷つかれた同行の訴えに

ご開山に申しわけなかったという気持ちはないんですか

という信心の呼びかけがありました

彼らはじぶんたちへのお詫びを要求したのではなく

彼らが心から敬うあなたを 冒瀆していることへの訴えでした

わたしたちはいま 読まないでほしいと言われながらやめられないでいます

差別のない世界を願いとしながらも

無自覚に読誦してきたことへの慙愧として

わたしたちは その言葉を読めなくなりました

傷つけられた者と傷つけた者がほんとうに救われるまでは

あなたのご誕生をお祝いするとき 感謝とともにお詫びします

あなたは「無慙愧は名づけて人とせず」と引いてくださいました

慙愧するところに人と人がはじめて生き遇えることを見るとき

傷つけられてきた同行の問いを思い出します

あんた人間忘れたん どこで忘れたん

人間忘れていませんか

忘れていたことにも気づかずにいりました

傷つけられた者と傷つけた者をともに救う

汝 我が名を称えよという如来からの呼びかけ

共に 朋に 友に 生き遇う世界を求めて

ここに ともに 悩み 人間を回復していく歩みを果たしていくことを

敬って申しあげます

人間を忘れません

南無阿弥陀仏

二〇二三年四月十二日

真宗大谷派同和関係寺院協議会

*二〇一三年、部落解放同盟広島県連合会から「是施陀羅」の語に関して宗派に問題提起。翌年に出版された同顧問の小森龍邦さんの著書『親鸞思想に魅せられて』（明石書店）には、『観無量寿経』の「是施陀羅」の教説部分は、被差別者にとってはやりきれないほど、心に痛みを感じるところである」と述べられている。

*一九二二年、西光万吉さんは全国水平社創立大会の翌月、奈良県での演説会で「施陀羅」の差別性に触れる。同じく水平社の井元麟之さんは、「是施陀羅」に対する解釈に異議を訴え、生涯を通じて東西両本願寺を問い続けた。

*『観無量寿経集註』
宗祖は御経を書写し、行間や欄外に細かな文字で註釈を記された。『観経』『序分』の該当部には善導大師の『観経疏』『序分義』の引用が綿密に描き込まれている。「是施陀羅」の語については行間に何も描き込まず、「是施陀羅」の語を記した紙面の背面、裏側に善導大師の「施陀羅」解が記されている。

*難波別院輪番差別事件を受けて部落解放同盟中央本部によって開かれた大谷派に対する糾弾会。一九七一年に開かれた第六回糾弾会において、水平社創立以来の同人である米田富さんは、「先程から何やら差別したことが悪い、申しわけないとかとこう、我々に謝るように言うておられますけどね、私は皆さん方、本願寺の僧侶としてね、そういうことはご開山に申しわけなかったというような気持ちはないんですか」と、僧侶の姿勢を糾した。

*「同関協」が、「是施陀羅」問題を課題として差別の克服（人間性の回復）を果たす」を事業方針に掲げ慶讃事業として行った「是施陀羅」問題を考える奉仕団（全二回）において、法要式に定められた読経を僧侶の責務としつつ、読むことに痛みを訴える人の顔を思い、読めないことに後ろめたいものを感じながら、『観経』を「不読」か「読誦」かの二者択一の議論ではなく、差別に苦しんでこられたご門徒の前で「読めない」との思いを共有した。

*「無慙愧は名づけて人とせず」
親鸞聖人は、『涅槃経』を引かれて『教行信証』『信卷』に、「慙は内に自ら羞恥す、愧は発露して人に向かう。慙は人に羞ず、愧は天に羞ず。これを慙愧と名づく。無慙愧は名づけて人とせず」と記している。また、『正像末和讃』に、「無慚無愧のこの身にてまことのころはなけれども 弥陀の回向の御名なれば 功德は十方にみちたまふ」と和讃された。

*「あんた人間忘れたん どこで忘れたん 人間忘れたん」一九八九年、「第二回真宗大谷派糾弾会」において、部落解放同盟京都府連合会書記長の駒井昭雄さんが宗派に問いかけた。

*「あなた 人間忘れていませんか
ー共に、朋に、友に生き遇いましょうー」
「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ。



門前ライブ「人間を忘れない！」
演奏リスト

- ♪ 白目
- ♪ 独立記念日
- ♪ 生きるっていうこと
- ♪ 大阪UP (DJ 下拓REMIX)
- ♪ 頑張ってれば
- ♪ 諸先輩方からのお言葉
- ♪ Nothing
- ♪ 涙が出る
- ♪ 心とフトコロが寒い時こそ胸を張れ
- ♪ 切り花の一生
- ♪ ここから…いまから



「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年 慶讃法要記念大会

人間を忘れない！

 東本願寺門前ライブ 

SHINGO★西成 DJ FUKU



大会表白に引き続き、御影堂門前をステージとし、新しく整備された「東本願寺前市民緑地（愛称・お東さん広場）」を客席として、午後 4 時より記念ライブコンサートを開催。「門前ライブ 人間を忘れない！」と題して、SHINGO★西成 with DJ FUKUさんの“魂の叫び”と謳われる 1 1 曲が披露され、聴衆約 4 0 0 人が体を揺らしながら聴き入った。

その中でも、「生きるっていうこと」「諸先輩方からのお言葉」「ここから…いまから」の 3 曲は、来年 2 0 2 4 年に迎える「同関協」発足 5 0 周年に向けて、私たちに何が願われ、あゆみが続いてきたのかを振り返る機会になった。

とくに、「言葉の意味ばかり求めるな、いのちの叫びを届けろ」というメッセージに、先人の理屈を越えたあゆみが確実にあり、それは言葉だけでなく「存在の根底から突き上げられてくる叫び」として、私たちに届けられていると感じた。

今回表明した「是施陀羅」問題に対する基本姿勢をもとに、これから「同関協」が目指すところは何なのかを具現化し、「課題の共有」が出来るための発信力を身に付けなければならない。しかし、宗門内でも久しく言われながら、「何が課題なのか」「なぜ共有する必要があるのか」「共有出来たとして、そこから何をしていきたいのか」が表されていなかったように思う。

言葉だけでなく、何か別の表現でもって我々の「いのちの叫び」を届けることも必要ではないかと考えている。

（報告 編集委員 浜口和也）

「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業会計決算書

項 目	歳入項目	概算額	決算額	比較増減	備 考
1	事業積立金	900,000	900,000	0	慶讃事業・50周年事業積立金
2	本山助成金	1,500,000	1,500,000	0	慶讃事業助成金
	合計	2,400,000	2,400,000	0	

項 目	歳出項目	概算額	決算額	比較増減	備 考
1	記念大会部会費	1,200,000	1,491,024	291,024	ポスター・大会冊子等発行部会費より充当
1	記念講演	450,000	736,260	286,260	講師礼・レジュメ・資料・弁当・会議費
2	記念ライブ	750,000	754,764	4,764	出演料・機材設備・備品レンタル・看板等
2	奉仕団部会費	200,000	107,780	△ 92,220	「是施陀羅」問題を考える奉仕団× 2 回
1	奉仕団結成× 2	200,000	107,780	△ 92,220	講師礼・案内印刷・送料
3	発行部会費	500,000	55,140	△ 444,860	ポスター・冊子は記念大会部会作成
1	ポスター・冊子	500,000	55,140	△ 444,860	会議費
4	予備費	500,000	0	△ 500,000	(50周年事業費)
1	予備費	500,000	0	△ 500,000	
	合計	2,400,000	1,653,944	△ 746,056	

2 0 2 2 年度 慶讃事業・5 0 周年事業積立金会計報告

収入	項目	金額	支出	項目	金額	差引剰余金 746,056円
1	2021年度 繰越金	750,000	1	慶讃事業費	153,944	
2	2022年度 回付受金	150,000			0	
	合計	900,000			153,944	

* 積立金会計剰余金は 2 0 2 3 年度会計に繰入

2023年度総会議案

- 議案第1号 2022年度事業報告
 議案第2号 2022年度決算書並びに監査報告
 議案第3号 2023年度事業計画(案)
 議案第4号 2023年度予算(案)

二〇二三年七月十八日、しんらん交流館大谷ホールにて二〇二三年度総会を開催した。昨年に引き続き対面形式にて行われ、全国から二十九名の会員の出席があった。

総会に先立ち、松尾英城会長の挨拶があり、四月に開催した「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗八百年慶讃法要記念大会での各事業の振り返りや、二〇二四年度に迎える「同関協」発足五十周年に向けての思いなどを話された。

木越渉宗務総長と尾畑英和解放運動推進本部部長、徳永誠解放運動推進本部事務部長が臨席され、木越総長が挨拶をされた。その後、徳永事務部長が人事異動での着任の挨拶をされた。

総会では岡田克也さん(京都教区)が議長に選出され、提出された全四議案は滞りなく審議・承認された。

報告事項として、①三名の新規会員加入、②「同関協」発足五十周年記念事業実行委員会の立上げ、③新規を含む「同関協」より「編集委員五名の委嘱があった。

総会後の学習会では、「慶讃法要記念大会」に引き続き谷元昭信さん(元部落解放同盟中央書記次長)をお迎えし、「部落差別はなぜ今も残り続けるのか——部落差別の存続根拠に関する「3つの視座」からの考察——」と題して、予定された時間ギリギリまで力強くご講義をいただいた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために三年間見送られていた懇親会が、総会・学習会終了後に開催され、出席された皆さんそれぞれ懇親を深められた。



総会学習会

テーマ 部落差別はなぜ今も残り続けるのか

— 部落差別の存続根拠に関する「3つの視座」からの考察 —

講師 谷元 昭信 さん

「同関協」宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要記念大会

記念大会参加者の声

- 今回、記念大会に参加して一番印象に残っているのは、川端裕敬大会実行委員長が読み上げられた表白です。『観無量寿経』に説かれている「是施陀羅」という言葉が読めなくなった背景として、「無自覚に読誦してきたことへの慙愧として」という一文がありました。私にもその自覚は全くありませんでした。
- 誘われてきたのですが、お話を聞いて言葉にならないのですが大切なことをお聞かせいただきました。自分の現場で考えさせてもらいます。
- 講義の内容が多くもっと時間をかけて聴かせてもらいたかった。
- 読めないという姿勢を大切にしつつ、まずは『観無量寿経』そのものにもう一度向き合うという大谷派宗門の姿勢に私も身を置き、我が事として「是施陀羅」問題について学びを深めていきたいと思います。
- きれいごとではない。きれいな言葉だけではなく、悩んでることを表現してもらいたい。
- ライブ見て力もらってました。講義勉強になりました。とくに印象的だったのは水平社宣言です。教区での学習会でも毎回読んでますが、弱点なんかもしっかりと抑えられていて改めて聞いてみるとなるほどとおもいます。是非、文字起こしして欲しい講義でした。拙い感想ですが、また、よろしくお願いします。なかなか文章では、伝わりにくいですが、講義もライブも力もらいました。
- 講義の中で熱のある慙愧ということがとても響きました。

ニンゲン
ワスレテ
イマセンカ

- ニンゲンワスレテイマセンカ
これは親鸞にかえるということ。
- 一番弱い人の目線に還るということを思いました。
- 人数の問題ではなく御影堂で開催すべきでは?いろんな方々に聞いてもらいたかった内容です。
- これだけの規模で行われ、内容としてもとても大事なのに、なぜ御影堂で開催しなかったのか。より多くの方々に参加してもらい、ともに考えていく機会となったのではないかと、少し残念に思いました。
来年、2024年は、「同関協」設立50周年と聞きましたが、是非とも記念大会を御影堂で、宗祖とともに開催できることを願っています。



- 具体的に願いを前にして動き出して進んでいかなければならない。いったいわたしたちは何を守ろうとしているのか。
- 水平社の中にあっても女性たちは排除されてきた! ジェンダーのことを取り上げてほしい。
- この講義を聴かせてもらい差別解決に真宗教団が期待されたのだと思いました。
- いまこれだけ問題になっている「是施陀羅」です。しんらん交流館で内々で開催するのではなく、どうして御影堂で記念大会を実施しなかったのですか? 親鸞さんの前で...
- まだ多くの方が課題になり得ていない現実と、「是施陀羅」という言葉によってなされてきた差別的な説教により貶められてきた人々がいたことも無自覚に読誦を続けている僧侶がいる中で、取り沙汰されるのは「読むのか、読まないのか」ということに終始しているように思います。

《 2023年》			《2024年》		
7月 6日	2022年度会計監査	@京都教務所	1月 日	第4回三役会(＊)	
10日	第1回三役会(＊)		2月 8日	第4回50周年記念事業実行委員会	
18日	2023年度総会		3月 上旬	「同関協」奉仕団 1泊2日 同朋会館	
19日	第1回常任・専門委員会		日	第1回『同関協だより』第67号編集会議	
19日	「是旃陀羅」問題についての説明会		4月 日	第2回『同関協だより』第67号編集会議	
26日	第2回三役会(＊)		5月 日	第5回三役会(＊)	
8月 3日	第2回『同関協だより』第66号編集会議		8日	第2回常任委員会	
9月26日	第3回『同関協だより』第66号編集会議		8日	第4回50周年記念事業実行委員会	
10月19日	第1回50周年記念事業実行委員会		日	美作騷擾忌	
31日	『同関協だより』第66号発行		日	第3回『同関協だより』第67号編集会議	
11月16日	第2回50周年記念事業実行委員会		31日	『同関協だより』第67号発行	
12月 日	第3回三役会(＊)		6月 日	第6回三役会(＊)	
6日	第1回常任委員会		19日	第2回常任・専門委員会	
6日	第3回50周年記念事業実行委員会				
				☆ 各ブロック協議会 随時	
				☆ 三役会・各作業部会 随時	
				(＊) リモート会議	

2023年度 真宗大谷派同和関係寺院協議会 予算書			歳入の部	3,257,000 円
歳入			歳出の部	3,257,000 円
自 2023年7月1日 至 2024年6月30日				

項	目	歳入項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	1	会費	600,000	600,000	0	@5,000円*120ヵ寺
2	1	本山助成金	1,500,000	1,500,000	0	
3	1	繰越金	407,914	216,104	191,810	前年度より繰越金
4	1	雑収入	749,086	896	748,190	積立金会計剰余金、銀行利息
		合計	3,257,000	2,317,000	940,000	

歳出

項	目	歳出項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1		会議費	1,800,000	1,000,000	800,000	
	1	総会費	400,000	300,000	100,000	
	2	会議費	1,400,000	700,000	700,000	三役、常任、常任・専門 各委員会、会計監査、50周年事業実行委員会
2		事業費	850,000	750,000	100,000	
	1	組織拡充費	300,000	250,000	50,000	奉仕団
	2	会報費	550,000	500,000	50,000	『同関協だより』発行・編集会議
3		ブロック協議会費	340,000	150,000	190,000	
	1	助成費	240,000	150,000	90,000	¥80,000*3ブロック
	2	聞き取り調査費	100,000	0	100,000	美作騷擾忌
4		事務局費	220,000	210,000	10,000	
	1	事務局運営費	120,000	110,000	10,000	役員手当、ZOOMライセンス
	2	発送費	100,000	100,000	0	
5		積立金会計回付金	0	150,000	△150,000	
	1	積立金会計回付金	0	150,000	△150,000	廃目
6		予備費	47,000	57,000	△10,000	
	1	予備費	47,000	57,000	△10,000	
		合計	3,257,000	2,317,000	940,000	

《 2022年 》		12月12日	第5回記念大会部会
7月13日	2021年度会計監査①	13日	第3回『同関協だより』第65号編集会議
15日	2021年度会計監査②	31日	『同関協だより』第65号発行
15日	第1回三役会(＊)		慶讃事業記念大会ポスター発行
20日	2022年度総会		
21日	第1回常任・専門委員会 @京都教務所	《 2023年 》	
21日	第1回法要実行委員会 @京都教務所	1月18日	第6回記念大会部会
28日	第2回三役会(＊)	2月 8日	第7回記念大会部会
8月 1日	第1回記念大会部会	21日	第8回記念大会部会
7日	第3回三役会・発行部会チーフ会議(＊)	28日	第1回『同関協だより』第66号編集会議
9月 8日	第1回『同関協だより』第65号編集会議	3月 6日	第9回記念大会部会
8日	第1回発行部会 @慈廣寺	13日	法要実行委員会 常任・専門委員合同会
12日	第1回奉仕団部会(＊)	29日	記念大会作業部会
15日	第2回記念大会部会	4月 1日	記念大会冊子発行
29日	記念大会作業部会	11日	慶讃法要記念大会 準備
10月 4日	第2回「是旃陀羅」問題を考える奉仕団(～5日)	12日	慶讃法要記念大会
17日	第3回記念大会部会 @京都教務所	13日	慶讃法要記念大会 片付け
25日	記念大会作業部会 解推 打ち合わせ	5月 2日	第7回三役会(＊)
27日	第4回三役会(＊)	8日	第1回常任委員会
11月 1日	慶讃事業作業部会 解推 打ち合わせ	28日	美作騷擾忌 協賛
2日	第2回『同関協だより』第65号編集会議	6月20日	第2回常任・専門委員会
4日	第5回三役会(＊)		
14日	第4回記念大会部会	(＊) リモート会議	
14日	第2回法要実行委員会	☆ 各ブロック協議会 随時	
24日	第6回三役会(＊)	☆ 各作業部会 随時	

2022年度 真宗大谷派同和関係寺院協議会 決算書			歳入の部	2,266,618 円
歳入			歳出の部	1,858,704 円
自 2022年7月1日 至 2023年6月30日			歳入歳出差引剰余金	407,914 円

項	目	歳入項目	予算額	収入額	比較増減	備 考
1	1	会費	600,000	454,000	△146,000	@5,000円*90ヵ寺・講読料@1,000円*4
2	1	本山助成金	1,500,000	1,500,000	0	
3	1	繰越金	216,104	216,104	0	前年度より繰越金
4	1	雑収入	896	96,514	95,618	銀行利息、奉仕団立替分戻し
		合計	2,317,000	2,266,618	△50.382	

歳出

項	目	歳出項目	予算額	決算額	比較増減	備 考
1		会議費	1,000,000	906,980	△93,020	
	1	総会費	300,000	340,220	40,220	会議費より充当
	2	会議費	700,000	566,760	△133,240	三役、常任、常任・専門 各委員会、会計監査
2		事業費	750,000	466,790	△283,210	
	1	組織拡充費	250,000	185,960	△64,040	第2回「是旃陀羅」問題を考える奉仕団
	2	会報費	500,000	280,830	△219,170	『同関協だより』発行、編集会議
3		ブロック協議会費	150,000	150,100	100	
	1	助成費	150,000	150,100	100	¥50,000×3ブロック、予備費より充当
	2	聞き取り調査費	0	0	0	
4		事務局費	210,000	174,834	△35,166	
	1	事務局運営費	110,000	118,106	8,106	役員手当、ZOOMライセンス 発送費より充当
	2	発送費	100,000	56,728	△43,272	
5		積立金会計回付金	150,000	150,000	0	
	1	積立金会計回付金	150,000	150,000	0	
6		予備費	57,000	10,000	△47,000	
	1	予備費	57,000	10,000	△47,000	美作騷擾忌
		合計	2,317,000	1,858,704	△458,296	